

次世代火山研究推進事業 課題 B2-2 の事業終了について（伺い）

次世代火山研究・人材育成総合プロジェクト 次世代火山研究推進事業 課題 B2-2「火山観測に必要な新たな観測技術の開発（位相シフト光干渉法による多チャンネル火山観測方式の検討と開発）」では、位相シフト光干渉法振動観測システムを開発し、実際の火山観測に投入して振動観測が可能であることを確認するとともに、耐雷性や耐熱性など火山観測における総合的な耐環境性の検証を実施してきた。

今般、課題責任機関の京都大学より、開発した地表設置型及びボアホール設置型のシステムが火山観測のための十分な振動観測性能と耐環境性を持つことを確認できたことから、当初の目的を達成したとして、本課題の終了について申し出があった。

本件は、上述の通り、課題 B2-2 の終了について、総合協議会の承認を求めるものである。

なお、今後、他の課題や、関係機関における火山観測への活用が図られるよう、必要な働きかけなどの取組を進めていく予定である。